

せがき法要 LIVE中継

MyYouTube 妙法華院チャンネル 令和2年8月19日 午後1時～午後4時



七月にお盆の案内を発送した時には、コロナの第二波がこんなに早く訪れるとは思っていませんでした。七月の関東盆のお参りの頃から急激に東京でも増え始めました。しかし三月のお彼岸を見送りましたので、お断りの無い限り感染対策を万全にして上京致しました。それから二週間は症状が出ないか気を探みながら過ごしました。七月下旬になって迷いましたが、そのまま例年通りの棚経の予定を組んで檀家の皆様に葉書を出しました。その時点で休みを希望される方は、お寺に連絡が入り、考えていたよりは中止の数は少なく、ほぼ例年通りお参りさせて頂きました。マスクをしながらの読経は、暑さもあって少々きつかったですが、数日間次男が運転手をしてくれたので助かりました。

おせがきは、通常のかき氷供養や懇親会は中止としました。エアコンをかけながら風を通して座席を空け、満座供養の数を減らして臨みました。一番のチャレンジは、皆さんが来られなくてもお参り出来るようリモート配信をYouTubeで行った事です。概ね大きなトラブルも無く、なんとかご自宅のパソコンやスマホでせがきを御覧になることができたようです。

昔から私自身、法要のライブ中継は考えていたのですが、逆にこのコロナ禍をきっかけに大きく一歩踏み出すことが出来ました。これからお寺の行事もリモート配信していく予定です。基本はもちろん来てもらうことが前提ですが、リモートでお参りされる場合は、お仏壇にローソクを点し、お線香を立てて御覧になって下さい。



おきらく日記 **しましん**
2020年9月4日(金)
何だか、タイトルがめかるみの世界、新野新みたいになってしまった。先日、身体全体が急に痒くなって寝られなくなった。何かの虫刺されかな？と思って見てみると、皮膚の柔らかな部分があちこち腫れている。調べてみると、ジンマシンのような。次の日医館に行ったら、アレルギー反応を調べてもらったが、特にコレ！というものは無い。薬を飲んで、事なきを得た。風疹の抗体検査をやったり、歯がとれたり…カメラを体に入れたり、最近はお医者さんと仲良しな私なのである。

受け難き人身を受け 値ひ難き佛法に値ひて 住職 新聞智孝

日本の神道では死や血・動物は穢れているといふ考え方があります。亡くなった人だけでなく、その身内までもが忌中（いみじゅう）は神域に立ち入る事が許されません。それは穢れが伝染すると考えられているからです。神聖な山が昔、女人禁制になっていたりしたのには、生理があるからです。一方仏教では、死を穢れとは見なしません。ですからお寺で葬儀も行われるし、最近清めの塩も廃止の傾向にあります。また輪廻の思想からすると、私達が来世で動物に生まれ変わる可能性だってあります。法華経では、動物が仏に生まれ変わる事もあるのです。御曼荼羅というご本尊は、仏・菩薩・天だけでなく人や畜生も一緒に「南無妙法蓮華経」というお題目を取り巻いてひしめき合っています。この娑婆世界で生きとし生けるものは、それぞれが関係し合って共存しているのです。

お寺で納骨堂と動物供養碑を区別してお祀りしているのは、この穢れの思想が日本人に根強く流れているからです。日蓮聖人は猿や犬に助けられたことがあります。法華経思想には「全ての命を優しく包み込む世界観がある」と、私は「感じています」。

無垢地の園に花開き、法性の空に月明かならん

人間は、死に対する恐怖心を誰もが持っています。どうすれば死に対する恐怖から逃れ、安らかに逝けるのでしょうか？人間は他の動物よりも高度な脳を持っている代償として死ぬのが怖いと感じます。病氣や高齢で死が近づいてくると、お迎えを体験する方の割合が増えてきます。死んだ人が枕辺に立つ現象です。亡くなった方と再会する事により、自分の死の役割を理解出来るようになります。高齢になると認知症が進むのも自然の摂理。周りの家族は「何故、私の事が判らないの？」と嘆き悲しみますが、自分の家族が判らないという事は、自分が死ぬという事も理解出来なくなっています。つまり死に対する恐怖は消えるのです。死というのは受け入れたい現実ですが、その時が来れば必ずと世界の見え方が変わってくるモノだと感じています。私も五〇代後半にさしかかり、老眼が進み歯が抜け、関節に痛みが生じます。グルコサミンを飲んだり電気を当てたりして誤魔化しながら生きながらえます。しかし「耐用年数」は、もう過ぎていくでしょう。いつ壊れるかは運（仏さまの計らい）だと思っております。私達は「いつ死ぬか」で気を探むことよりも「いつ死んでもいい」という今に集中した生き方をすることが大切です。悔いの無い毎日を重ねた先にある死ならば、私はきつと納得して死を受け入れられるようになると思うのです。貴方はどうですか？

消防団員応援事業所
～私たちは消防団員を応援しています～
がんばれ！ひょうご消防団
公益財団法人 兵庫県消防協会

消防団員の方は動物供養料をオマケします

死の体験旅行
死を前にした人の苦しみ・悲しみを体験
参加費 三千元 午後5時半受付
10月21日(水) 午後5時半受付
午後8時終了予定
午後に次第メ切り
・場所 妙法華院四階和室
・ファシリテーター 村尾雄志師
※興味ある方はお寺までお問い合わせ下さい

予告記事
★唱題のつどい
時間はいつでも午前9時半～
・9月25日(金) 秋彼岸結日
・10月10日(土) 延法難聖日
・10月13日(火) 宗相開聖日
・11月11日(水) 小松原法難聖日
・11月13日(金) 宗相開聖日

★信行会
時間はいつでも午後1時～
※今年から法華経講座です
今は仏教全般、他のお経も勉強して貰います

★護持会奉仕日
・10月13日(火) 唱題後10時～
・11月13日(金) 唱題後10時～

★運営会議
総代・元総代・護持会役員は出席下さい
・10月4日(日) 午後4時
・10月7日(水) 午後2時
・11月7日(土) 午後2時
・12月12日(土) 午後2時

★お会式報恩唱題行
・11月22日(日) 午後5時～
・11月23日(祝) 午後1時～
逆修法号授与式
特別法話 佐藤光起師
講題「言葉の力を」

★お会式報恩法要
・11月23日(祝) 午後1時～
逆修法号授与式
特別法話 佐藤光起師
講題「言葉の力を」

わんごの穴 編集後記

今回は「死」についてクロールアップしました。小川糸さんの「ライオンのおやつ」を真似て、愛犬の生を追いましました。私的な事なので掲載に迷いましたが、死を語るにはペットが伝え易いと判断したので、死に対しては、礼節とある程度の距離が必要とします。

「フレイクシオン作家智孝」

「コロナ自粛に入ったことで、豪華？客層のコースが中止になり、給与保証もなく陸上待機中。来春に就活が本格的になる三男は、名の知れた会社に入ったからといって、安泰ではない」ことを目の当たりにし、就活に向けて良い勉強になったよつです。お寺も自粛で大変ですが、皆さんもコロナに負けず、一緒にがんばりましょう！

【陽子】

先日、健康診断を受けてきました。大変だったのが、胃カメラの検診を受けられる血圧の規定値を超えていて「検査出来ません」と言われたことです。3度計りなおし、何とか規定値に治まり検査してもらえました。問診では、色々先生に指導頂きました。来年の診断に向けて調整を始めようと思っております。

【清水】

今回「ソラのおやつ」の誌面デザインを父が任されました。大学はほとんどがオンライン授業になる上に、部活も4か月ほど活動休止であったため「良いおうち時間になるかな」と思い引き受けました。父とデザインやレイアウトのやり取りをする上で、ソラの写真がたくさん送られてきました。写真を見ると、寝ているソラの耳を触って反応を楽しんだり、散歩で拾い食いするソラに呆れたら何気ないソラに常を思い出しました。最近「写真って大事だな」と思います。学校や部活に行けない家族に会えない状況でも今まで撮った写真を見返すと、何気ない時間の記憶が蘇るキッカケになるからです。「またあの頃に戻りたいなあ」と感じるおうち時間でした。

【敬秀】

このコロナ禍の報道で、医療従事者はじめ困った人への寄付の話題をやっていた。日本の寄付は世界ランクで見るとかなり低い。キリスト教の教えの中で「金持ちは天国に行けない」という思想があるからだとか…。